

しぶんぎ群以外は目立たない

2022年は一区切りをつける年であるが、例年のない寒波到来の影響を受けて1月は観測が予定どおり実施できなかつた。そのため別表は今年の1月と2月合同の活動状態である。この点自動カメラシステムは気温に影響されにくいのが利点である。表1、2参照。

確実なのはしぶんぎ座流星群だけで、他の群の活動は確認できなかつた。

小流星群の活動

以前2月初めによく観測された、うしかい座 θ 流星群は1月下旬から2月上旬にかけて4夜1250分確認観測を実施したが、ほとんど見られなかつた。

No.858(FPB)2月うしかい座 ϕ 流星群が2月2/3に見られたが、うしかい座 θ 群との関係はわからない。

No.891(FSL)2月しし座 σ 流星群は2月25/26と27/28に見られた。この前後の夜には放射点こそ求まらないものの近くに流星群らしき活動を示唆する複数の流星を得た。しし座の後足、尾部、おとめ座のしし座境界付近に集まりそうな雰囲気であった。いわゆる「おとめ座流星群」の初期活動の可能性がある。3月も月上旬に追跡しているので来月に報告を譲る。

尚、かみのけ群については別途コメントしたい。

1月、2月分終わり。

表1	1月と2月の観測量			
	夜数	時間(分)	流星数	1夜当りの時間
河越彰彦	16	3950	103	246.9
斉藤和子	2	570	22	285.0
合計	18	4520	125	251.1

表2	1月と2月の流星群のチェック状態				
レベル	総数	確実	弱い活動	PLOT流星	未確認群
第1級	4	1	3	8	0
第1級候補	6	0	1	1	5
第2級	53	1	8	13	44
合計	63	2	12	22	49

